

加賀市の取組について

2020年9月17日

石川県加賀市

加賀市の概要



▲大聖寺藩の長流亭



▲山中・山代・片山津温泉を有する加賀温泉郷



九谷焼



山中漆器

- 位置 : 石川県の南西部、福井県との県境に位置
人口 : 65,593人 (R2.9.1 現在)
産業 : 主な産業は製造業、観光業
九谷焼や山中漆器などの伝統工芸も息づく



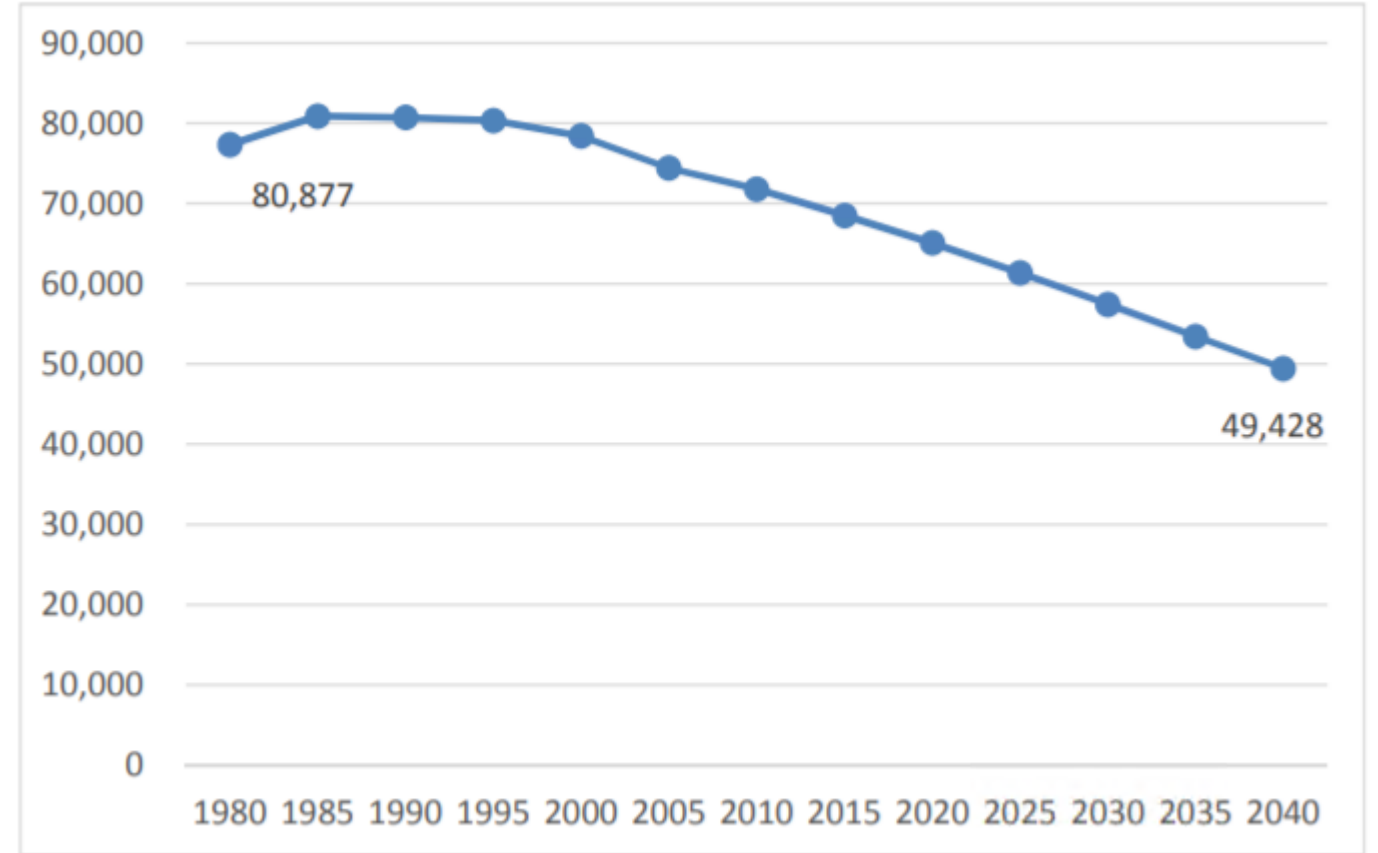
2023年 北陸新幹線加賀温泉駅が開業予定

加賀市の現状

東京から
飛行機で1時間30分
新幹線で3時間20分



人口減少による人材の不足



出所：加賀市人口ビジョン

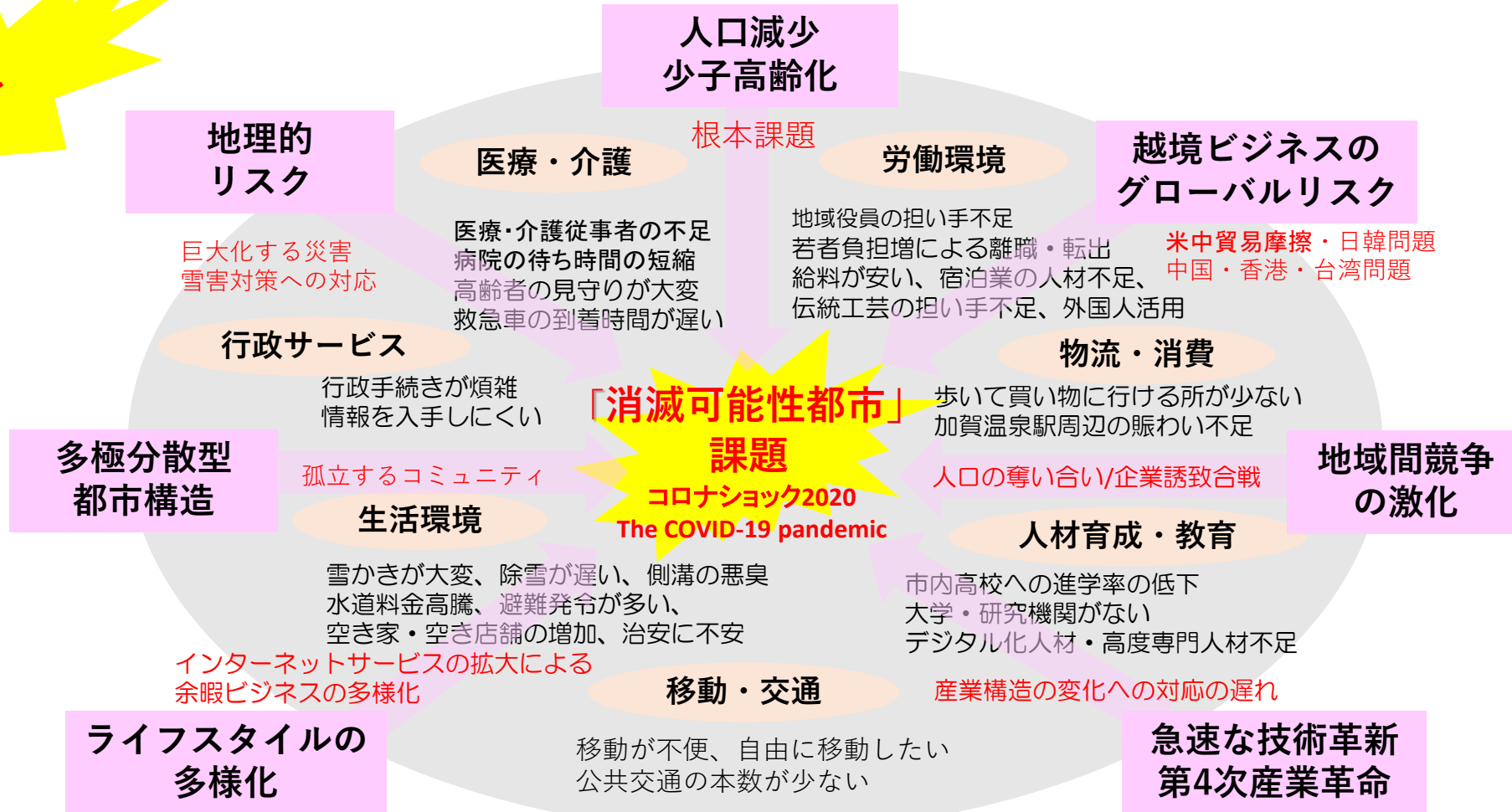
2014年5月 「消滅可能性都市」と指摘された。

日本創成会議「人口減少問題検討分科会」報告書

加賀市を取り巻く現状及び課題 —なぜ今、加賀市がスマートシティなのか??

様々な外部要因により、労働環境や市民サービス、行政サービスなどに、様々な課題が一気に表面化！！

ピンチ



「スマートシティ加賀」に向けて

「加賀市スマートシティ推進官民連携協議会」 (R1.8.26)

スマートシティの推進に向けた合意形成を図る場として、市内産業団体や市民団体等25団体で組織



「加賀市スマートシティ宣言」 (R2.3.30)

◇基本理念

人間中心の未来社会の実現

◇3つの戦略

- 1 デジタルファースト ～データ駆動型のまちづくり～
- 2 クリエイティブ ～創造的なまちづくり～
- 3 スマートシチズン ～市民との共創によるまちづくり～

◇運営の5原則

世界経済フォーラムが示す「スマートシティにおける5つの柱」と整合を図った「運営の5原則」

- 1 透明性を確保したまちづくり
- 2 公平性と多様性を重視したまちづくり
- 3 相互運用性を確保したオープンで機敏かつ柔軟なまちづくり
- 4 事業継続性を担保したまちづくり
- 5 安心・安全・強靱なまちづくり



クリエイティブでイノベーティブな
「挑戦可能性都市」を目指す。

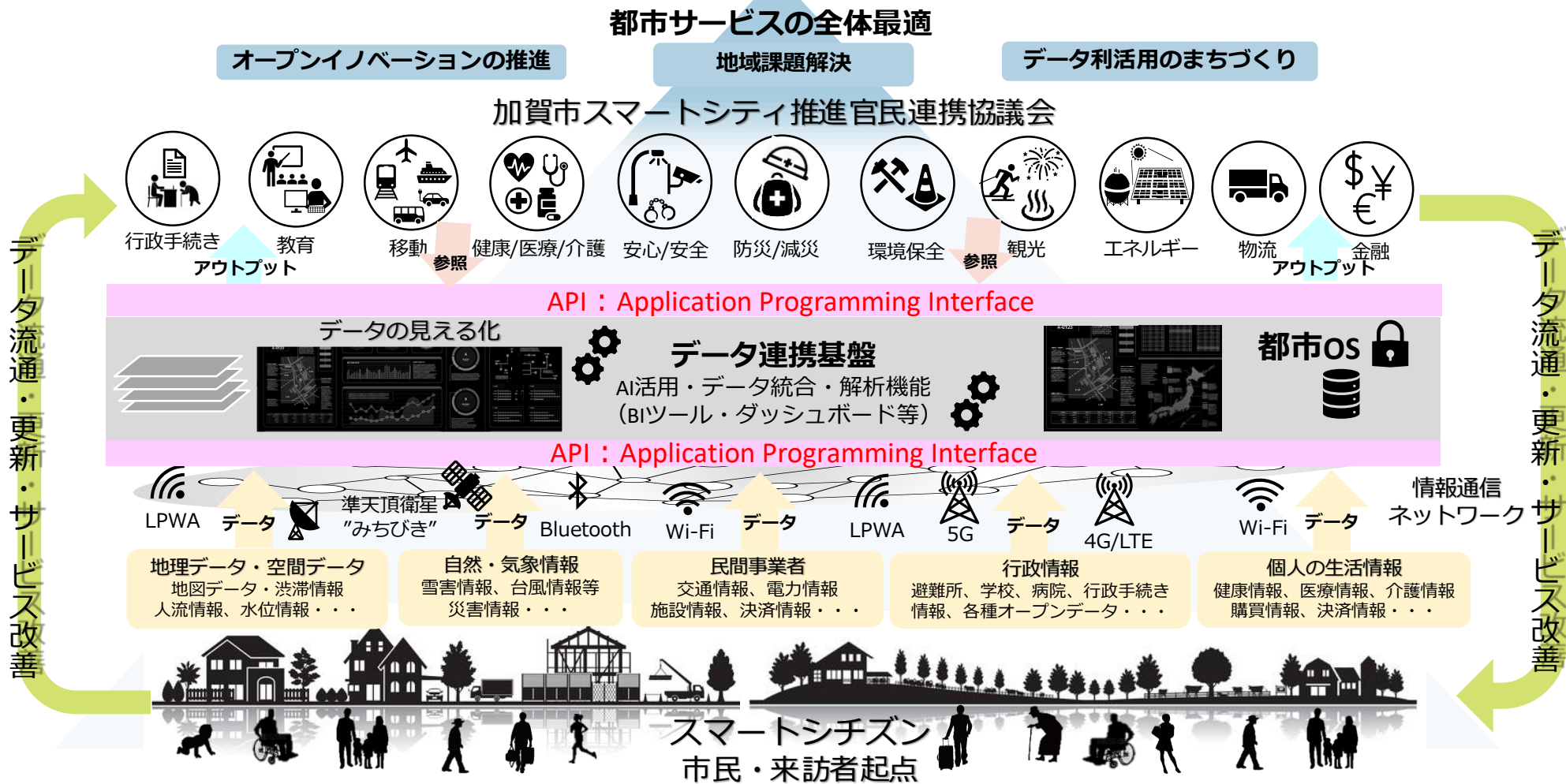


加賀市
Smart City

スマートシティ加賀の全体像とデータ連携基盤

- 「市民のQOL向上、来訪者の満足度向上、稼ぎ力の向上」の実現を目指すスマートシティ加賀の全体像とデータ連携基盤の概要を以下に示します。**「加賀市民憲章」の具現化**

「市民のQOLの向上・来訪者の満足度向上・稼ぐ力の向上」の実現



これまでの行動① = 地元企業の生産性向上、人材育成

- 2015年11月～
 - **加賀ロボレーブ国際大会**の開催（以後、継続開催）
- 2016年7月～
 - **総務省の「若年層に対するプログラミング教育の普及推進事業」**に選定
市内全小中学校でプログラミング教育の実施（2017年4月～）
 - **経済産業省の「地方版IoT推進ラボ」**に選定
- 2016年12月～
 - 地方創生推進交付金の交付決定**
 - **スマート加賀IoT推進協議会**の設立（2017年3月）
 - **スマート加賀IoT推進事業**の実施（IoT講習、IoT実証）
2018年4月 **加賀市イノベーションセンター整備**

これまでの行動② = I o T を拡大、革新的な取組

- 2018年3月
 - **ブロックチェーン都市宣言**
- 2018年4月～
 - **オープンデータの公開**
 - **R P A の本格導入**
- 2018年7月
 - **スマートインクルージョン推進宣言**
- 2018年10月～
 - **キャッシュレス決済の実証開始**
- 2019年1月～
 - **加賀総合サービス株式会社と地域内経済循環を目指す加賀市版 R E 1 0 0 事業に関する連携協定**

これまでの行動③ = 更なる革新的な取組、実証フィールド開放

- 2019年4月～
 - 自治体新電力事業の開始
- 2019年5月
 - 障がい者のテレワークの推進に関する連携協定
 - ANAとイノベーション推進に関する協定
 - コンピュータクラブハウスの開設
 - 地域情報マイページ「加賀POTAL」の開設
- 2019年7月
 - MONET Technologiesと自動運転社会に向けたモビリティサービスに関する連携協定の締結
 - AirMobility管制プラットフォーム、ドローン利活用に関する連携協定

これまでの行動④ = デジタル化・スマートシティ推進 - 1

- 2019年8月
 - DMM.comとの地方創生の推進に関する包括連携協定
 - 日本総研とスマートシティ推進に係る連携協定
 - 加賀市スマートシティ推進官民連携協議会設立
- 2019年11月
 - NTTドコモと5G時代を見据えた産業創出・教育振興に関する連携協定
- 2019年12月
 - **xID株式会社（旧blockhive）と次世代電子行政の実現に向けた連携協定**
- 2020年1月
 - 学校健診・母子健診情報のデジタル化と個人フィードバック発表

これまでの行動④ = デジタル化・スマートシティ推進 - 2

- 2020年2月
 - 加賀MaaSコンソーシアム設立
 - ゼロカーボンシティ表明
 - アバター実証事業開始
- 2020年3月
 - 塩屋地区の3Dマップ完成発表
 - スマートシティ宣言
 - スマートシティ構想案作成

これまでの行動⑤ = デジタル化・スマートシティ推進 - 3

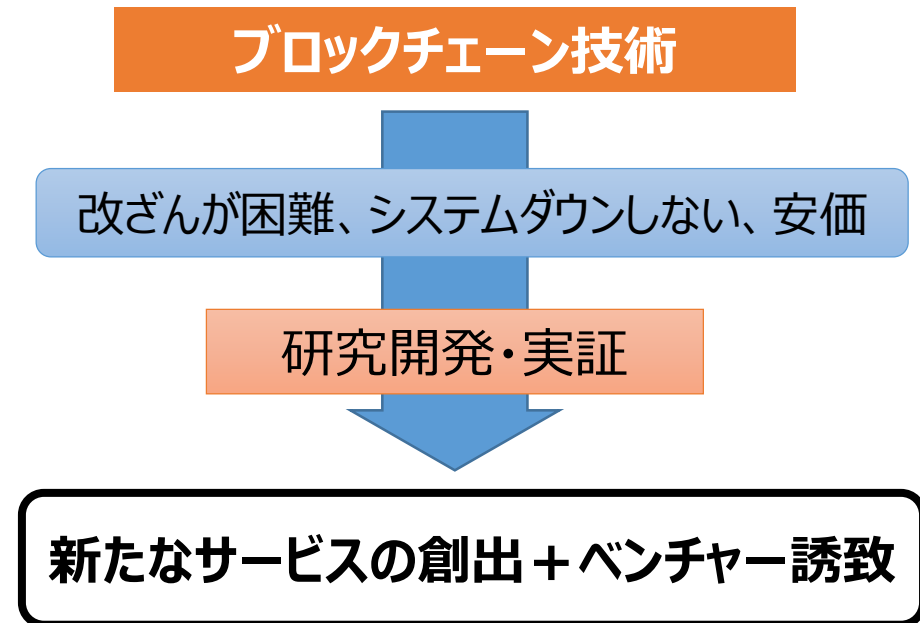
- 2020年7月
 - 市窓口におけるキャッシュレス決裁の拡充
窓口における手数料・使用料など取扱可能
 - 内閣府SDGs 未来都市に選定
 - 新しい通信技術（Wifiヘイロー）の実証実験の開始
 - 国土交通省MaaS実証実験に係るモデルプロジェクトに選定
 - 国土交通省スマートシティ推進に係る重点事業化促進プロジェクトに選定
- 2020年8月
 - 内閣府 地方創生推進交付金（Society5.0）の内示
 - **xID（デジタル認証）を活用した行政サービスの電子申請開始**
 - 総務省 データ利活用型スマートシティ推進事業の採択
 - ブロックチェーンに関する官民推進会合のオブザーバとしての参加打診
- 2020年9月
 - ブロックチェーンに関する官民推進会合のオブザーバとして参加

ブロックチェーン都市宣言

ブロックチェーン技術を活用して、電子行政などの社会コスト削減、市民のサービス利用性向上だけでなく、地域の経済活性化に向けて、共同研究開発に取り組む。



2018.3.16 連携協定を締結



地域情報マイページ 「加賀POTAL」

ブロックチェーン技術を行政サービスの基盤に活用するのは、
全国の自治体で初めて。

今すぐアクセス! あなたに役立つ情報をゲット!!

SMARTVALUE 協力 加賀市 KAGA CITY

加賀でもっとワクワクしよう!
加賀ポータル

加賀POTAL

あなたに必要な情報がすべて揃う!
加賀市の地域情報ポータルサイト誕生!

- 交通・生活
- 子育て・医療・福祉
- 観光・イベント
- 生涯学習・ボランティア
- 市の行政情報
- 市議会

加賀のすべての情報の中から、あなたに必要な情報を自動で提供。

「加賀POTAL」は、加賀市に住む方や、加賀市に新たに居住される方、観光に来られる方など、加賀市に関するすべての方へ必要な情報を提供する地域情報ポータルサイトです。本サービスは、行政・地域と市民とのコミュニケーションを強化し、データ分析を活用することで個人のライフスタイルに合わせた地域・行政・イベントなどの情報を提供いたします。

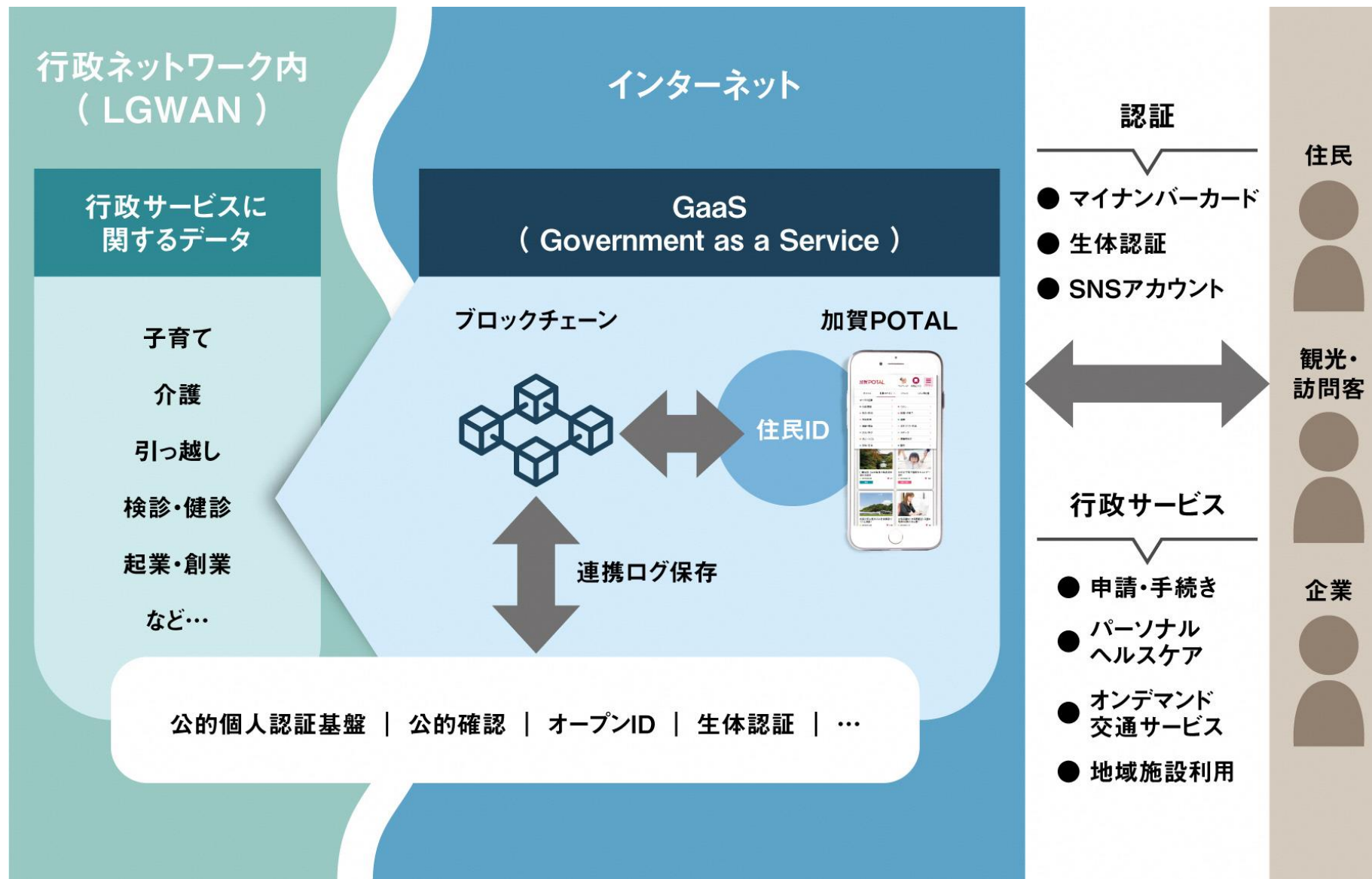
ご登録・ご利用はこちら
加賀POTAL <https://kaga.potal.jp>

※ 本サービスはスマートフォンからのご登録・ご利用となります。お近くのQRコードからご登録・ご利用いただけます。



2019年5月31日 渋谷社長（左）と宮元市長（右）

行政サービスをデジタルファーストで地域に提供



加賀市とxID株式会社（旧blockhive）との 次世代電子行政の実現に向けた連携協定締結

電子国家・エス
トニアの最先端
技術を導入！

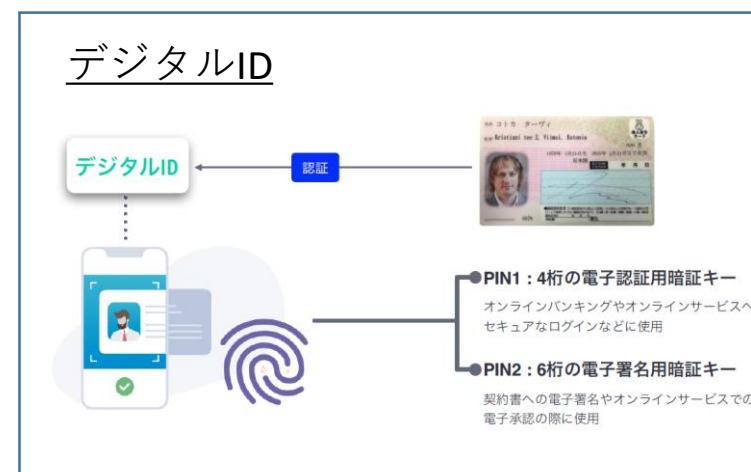
デジタルIDとマイナンバーカードを利用した「行政サービスのデジタル化」を実現し、
利便性の向上を目指します。



令和元年12月20日 日下CEO（左）と宮元市長（右）

【主な連携事項】

- ・オンライン行政サービスの推進
- ・マイナンバーカード普及促進
- ・民間サービスとのデータ連携推進



行政手続きデジタル化サービス提供開始発表

～加賀市×トラストバンク××ID～

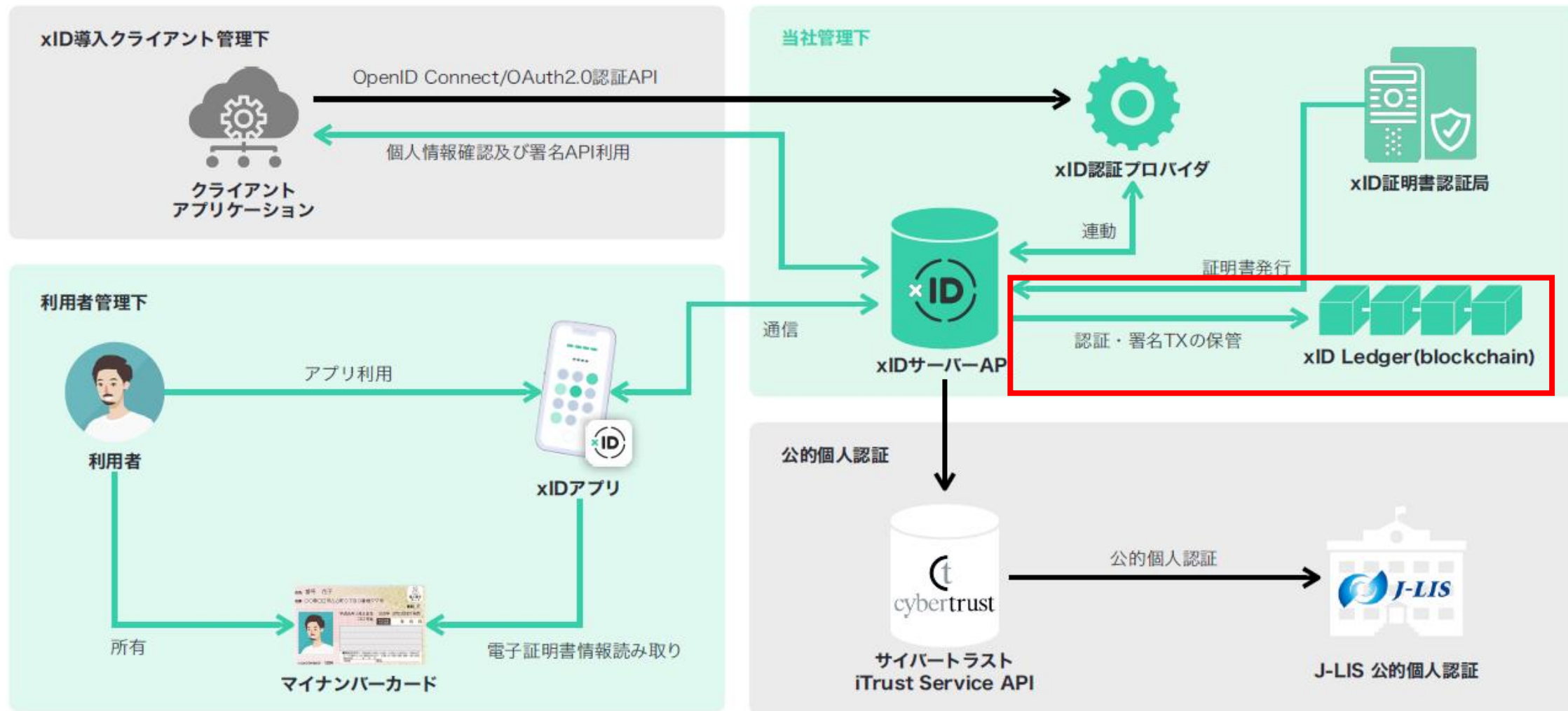
- ・「対面・紙・ハンコ」に頼らず
- ・マイナンバーカードによる
個人認証
- ・スマートフォンから行政手続き
- ・ブロックチェーン技術による
改ざん防止

マイナンバーカード普及率
50%超 (R2.8月末時点)



2020年8月12日（水） 記者会見

xIDの基本構成



ご清聴ありがとうございました